

令和7年6月16日

広域振興局長

提出者 シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上工場

住所 〒024-0002 岩手県北上市北工業団地2-25

氏名 工場長 川手 芳成

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

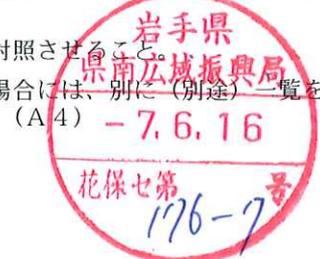
主たる工場又は事業場の名称	シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上工場	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市北工業団地2-25	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	2,766 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	0 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上工場	〒024-0002 岩手県北上市北工業団地2-25	2,217 kℓ
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上南工場	〒024-0051 岩手県北上市相去町平林14-14	443 kℓ
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北西和賀工場	〒029-5616 岩手県和賀郡西和賀町沢内字泉沢29-2-31	106 kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

県内全工場

エネルギーの種類	2024年度						E・B・D	前年度排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度比二酸化炭素排出量 (%)
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E・B・D					
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D	数値 E	単位 F				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	514.00	kL	19,856		kL	19,856	1,361	1,290	72	
軽油	0.97	kL	37		kL	37	3	3	3	
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	14.16	t	724		t	724	53	45	1
	石油系炭化水素ガス		t _{m³}			t _{m³}				
	液化天然ガス(LNG)		t			t				
	その他可燃性天然ガス		t _{m³}			t _{m³}				
石炭	輸入原料炭		t			t				
	原料炭		t			t				
	コークス用原料炭		t			t				
	吹込用原料炭		t			t				
	一般炭		t			t				
	輸入一般炭		t			t				
	国産一般炭		t			t				
	輸入懸焼炭		t			t				
石炭コークス		t				t				
コールタール		t				t				
コークスイガス		t _{m³}				t _{m³}				
高圧ガス		t _{m³}				t _{m³}				
発電用高圧ガス		t _{m³}				t _{m³}				
転移ガス		t _{m³}				t _{m³}				
その他の燃料	都市ガス		t _{m³}			t _{m³}				
	()									
	()									
黒液		t				t				
木材		t				t				
木質廃材		t				t				
バイオエタノール		kL				kL				
バイオディーゼセル		kL				kL				
バイオガス		t _{m³}				t _{m³}				
その他バイオマス		t				t				
RDF		t				GJ/t				
SRF		t				GJ/t				
廃タイヤ		t				GJ/t				
廃プラスチック(一般廃棄物)		t				GJ/t				
廃プラスチック(産業廃棄物)		t				GJ/t				
廃油		kL				GJ/kL				
廃棄物ガス		t _{m³}				t _{m³}				
混合廃材		t				t				
水素		t				t				
アンモニア		t				t				
その他燃料	()									
小計①							29,617	1,407	1,331	73
産業用蒸気		GJ				GJ				
産業用以外の蒸気		GJ				GJ				
温水		GJ				GJ				
浴水		GJ				GJ				
地熱		GJ				GJ				
温泉熱		GJ				GJ				
太陽熱		GJ				GJ				
雪氷熱		GJ				GJ				
小計②										
電気事業者③	10,020.71	kWh	86,579			kWh	86,579	1,028	1,822	794
電気事業者④(重複数割している場合使用)		kWh				kWh				
自己証書(非燃材由来を除く)		kWh				kWh				
自家発電	太陽光					kWh				
	水力					kWh				
	風力					kWh				
	その他					kWh				
小計③							86,579	1,028	1,822	794
合計①=①+②+③							107,196	5,436	6,157	721

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258

原油換算エネルギー使用量	2,766	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの純排出量

区分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	5,436 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六フッ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三フッ化窒素の排出量		t-CO ₂
合計		5,436 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 東北北工場

エネルギーの種類	(2024)年度									
	エネルギーの使用量			既燃したエネルギー使用量			E+B D	二酸化炭素排出量 (t CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t CO ₂)	前年度比二酸化炭素 排出率 (%)
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	514.00	kL	19,856		kL	19,856	1,361	1,290		72
軽油		kL			kL					
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	14.46	t	721	t	721	43	46		1
	石油系炭化水素ガス		t		t					
	液化天然ガス(LNG)		t		t					
可燃性天然ガス	その他可燃性天然ガス		t		t					
石炭	原料炭		t		t					
	原料炭	輸入原料炭		t		t				
		コークス用原料炭		t		t				
		吹込用原料炭		t		t				
		輸入一般炭		t		t				
		国産一般炭		t		t				
	輸入無煙炭		t		t					
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		t			t					
高炉ガス		t			t					
発電用高炉ガス		t			t					
転炉ガス		t			t					
その他の燃料	都市ガス		t		t					
	()									
	()									
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼル		kL			kL					
バイオガス		t			t					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			t					
RPF		t			t					
廃タイヤ		t			t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			t					
廃油		kL			kL					
廃棄物ガス		t			t					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料()										
小計 ①						29,586	1,405	1,334		70
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計 ②										
電気事業者①	7,563.23	kWh	65,316		kWh	65,316	3,610	3,708		668
電気事業者②(当該施設内で発生する場合)		kWh			kWh					
自己発電(非燃料由来を除く)		kWh			kWh					
自家発電	太陽光	kWh			kWh					
	水力	kWh			kWh					
	風力	kWh			kWh					
	その他	kWh			kWh					
小計 ③						65,316	3,610	3,708		668
合計 ①+②+③						85,927	4,445	5,042		597

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1)のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	2,217	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	4,445 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素
メタン	t-CO ₂
一酸化二窒素	t-CO ₂
六フッ化フルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六フッ化硫黄	t-CO ₂
三フッ化窒素	t-CO ₂
合計	4,445 t-CO ₂

(備考) 1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第71号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

東北北上南工場

(2024) 年度

エネルギーの種類	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E・B・D	温室効果ガス 排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度二酸化炭素 排出量削減率 (%)
	数量 A	単位 B	数量 C	単位 D				
原油(コンデンセートを除く)		kL		kL				
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL				
揮発油(ガソリン)		kL		kL				
ナフサ		kL		kL				
ジェット燃料		kL		kL				
灯油		kL		kL				
軽油	0.20	kL	8	kL	8	1		1
A重油		kL		kL				
B・C重油		kL		kL				
石油アスファルト		t		t				
石油コークス		t		t				
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	t		t				
	石油系炭化水素ガス	m ³		m ³				
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	t		t				
	その他可燃性天然ガス	m ³		m ³				
石炭	輸入原料炭	t		t				
	原料炭	コークス用原料炭	t	t				
		吹込用原料炭	t	t				
	一般炭	輸入一般炭	t	t				
		国産一般炭	t	t				
	輸入無煙炭	t		t				
石炭コークス		t		t				
コールタール		t		t				
コークス炉ガス		m ³		m ³				
高炉ガス		m ³		m ³				
発電用高炉ガス		m ³		m ³				
転炉ガス		m ³		m ³				
その他の燃料	都市ガス	m ³		m ³				
	()							
	()							
黒液		t		t				
木片		t		t				
木質廃材		t		t				
バイオエタノール		kL		kL				
バイオディーゼーゼル		kL		kL				
バイオガス		m ³		m ³				
その他バイオマス		t		t				
RDF		t		GJ/t				
RFDF		t		GJ/t				
廃タイヤ		t		GJ/t				
廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t				
廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t				
廃油		kL		GJ/kL				
廃棄物ガス		m ³		t/m ³				
混合廃材		t		t				
水素		t		t				
アンモニア		t		t				
その他燃料()		t		t				
小計①					8	1		1
産業用蒸気		GJ		GJ				
産業用以外の蒸気		GJ		GJ				
温水		GJ		GJ				
冷水		GJ		GJ				
地熱		GJ		GJ				
温泉熱		GJ		GJ				
太陽熱		GJ		GJ				
雪氷熱		GJ		GJ				
小計②								
電気事業者①	1,987.27	FkWh	17,170	kWh	17,170	799	855	56
電気事業者②	※取扱いしていない場合使用	FkWh		kWh				
自己託送(非燃材由来を除く)		FkWh		kWh				
自家発電	太陽光	FkWh		kWh				
	水力	FkWh		kWh				
	風力	FkWh		kWh				
	その他	FkWh		kWh				
小計③					17,170	799	855	56
合計 ①+②+③					17,178	799	855	56

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1)のエネルギー合計使用量 × 0.0258)

原油換算エネルギー使用量	443	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	799 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂	
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂	
六フッ化フルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂	
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂	
合計	799 t-CO ₂	

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 東北西和賀工場 (2024) 年度

エネルギーの種類	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E・B・D	酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	1年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	2年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	数量 A	単位 B	数量 C	単位 D				
原油(コンデンセートを除く)		kL		kL				
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL				
揮発油(ガソリン)		kL		kL				
ナフサ		kL		kL				
ジェット燃料		kL		kL				
軽油	0.77	kL		kL	29	2		2
A重油		kL		kL				
B・C重油		kL		kL				
石油アスファルト		t		t				
石油コークス		t		t				
石油ガス		t		t				
液化石油ガス(LPG)		t		t				
石油系炭化水素ガス		t		t				
液化天然ガス(LNG)		t		t				
可燃性天然ガス		t		t				
石炭		t		t				
輸入原料炭		t		t				
原料炭		t		t				
コークス用原料炭		t		t				
吹込用原料炭		t		t				
一般炭		t		t				
国産一般炭		t		t				
輸入無煙炭		t		t				
石炭コークス		t		t				
コールタール		t		t				
コークス炉ガス		t		t				
高炉ガス		t		t				
発電用高炉ガス		t		t				
転炉ガス		t		t				
都市ガス		t		t				
その他の燃料		t		t				
黒液		t		t				
木材		t		t				
木質廃材		t		t				
バイオエタノール		kL		kL				
バイオディーゼール		kL		kL				
バイオガス		kWh		kWh				
その他バイオマス		t		t				
RDF		t		t				
RPF		t		t				
廃タイヤ		t		t				
廃プラスチック(一般廃棄物)		t		t				
廃プラスチック(産業廃棄物)		t		t				
廃油		kL		kL				
廃棄物ガス		kWh		kWh				
混合廃材		t		t				
水素		t		t				
アンモニア		t		t				
その他燃料		t		t				
小計①					29	2		2
産業用蒸気		GJ		GJ				
産業用以外の蒸気		GJ		GJ				
温水		GJ		GJ				
冷水		GJ		GJ				
地熱		GJ		GJ				
温泉熱		GJ		GJ				
太陽熱		GJ		GJ				
雪氷熱		GJ		GJ				
小計②								
電気事業者①	170.21	kWh	1.063	kWh	4.063	189	260	70
電気事業者②(注)販売契約している場合使用		kWh		kWh				
自己調達(非燃料由来を除く)		kWh		kWh				
太陽光		kWh		kWh				
水力		kWh		kWh				
風力		kWh		kWh				
その他		kWh		kWh				
小計③					1.063	189	260	70
合計①+②+③					1.092	191	260	68

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1)のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	106	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	191 t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六フッ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三フッ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	191 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

CO2排出量を2018年度比25.2%削減するとの目標を掲げて取組を行ったところ、1年間で38.3%の削減を行うことができたため、目標を達成することができた。

【具体的な取組状況】

①電気

高効率エアコンへ更新

コンプレッサー運転の見直し(休日の停止、漏れ点検)

照明をLEDに更新

②灯油

ボイラー運転の見直し(休日の停止)や蒸気漏れ点検を実施したが増産により製造ラインの稼働時間が多くなり、CO2排出削減には至らなかった。

・「クールビズ、ウォームビズ」の実施により、エアコン運転時間を削減することができた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

コピーはモノクロ印刷を基本とし、複数ページの場合は全て両面コピーするなど紙の使用量削減に取組んだ。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	0 (0)	ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	0 (0)	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	0 (0)	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気	0	kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	0 (0)		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	0 (0)			kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

<p>【目標値の達成状況(進捗状況)】</p> <p>—</p> <p>【具体的な取組状況】</p> <p>—</p>
--

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

<p>—</p>
